

## 嬉石・松原地区まちづくり協議会 議事要旨

記

- 日時 平成27年12月15日(火) 18時30分～20時00分
- 場所 イオンタウン釜石1F イベントスペース
- 次第
  1. 挨拶
  2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
  3. 災害危険区域の指定について
  4. 復興公営住宅について
  5. 甲子川水門の進捗状況について
  6. 嬉石漁港海岸防潮堤について
  7. 意見交換

①工事状況スケジュールについて。場所によって盛土の種類が違うようだが、なにか事情があるのか。

②現在、宅地引渡しの具体的なスケジュールは明言されていない。現在の状況はどのようなになっているか。

→ ①宅盤整形用の盛土と、それ以外の土を分けて仮置きしています。

②明確に、何ヵ月後とは発表できませんが、ある程度宅地の目処がついた方へ、個別にご連絡させていただきます。可能な限り早い段階で、文書や直接訪問をしまして対応させていただきます。

①水門の工事についてだが、水門の下に土砂が溜らないように配慮して造るなど、造った後の事を考えているか？

②嬉石には漁港があるが、県や国から堤防の話がない。安全面で問題のない計画で防潮堤が計画されているかを知りたい。

③以前、宅地に関する図面をいただいたのだが、寸法が記載されていない。個人的に問い合わせ、寸法が入っている図面をいただいたが、他の方々も望んでいることではないかと思う。

→ ①我々もそれについては気にかけております。造った後、維持管理を適切に行い、状況をみながら検討させていただきます。

②嬉石地区は、場所によって県と市の管轄が違いますが、しっかり防潮堤をつないで隙間の無い整備を計画しております。

③宅地の寸法が入った図面に関しましては、仮換地指定の際にお知らせしておりますが、再度必要な場合には、市へ個別にご相談いただければご提示いたしますのでよろしく願いいたします。

これから家を建てる人たちは、資材費・人件費や消費税の増税で非常に負担が大きくなることが予想される。遅ればそれだけ負担も大きくなるが、そのような方々への補償・補助は考えているか。

→ 我々もそのような影響が増えるということを我々も十分認識しており、消費税の増税分に関しては、国の補助制度がございますので、市へご相談ください。資材費・人件費の高騰分に関しては支援制度がなくご要望に沿う事が難しいところですが、引き続き国や県へ要望を続けてまいります。

①甲子仮設にいるのだが、復興公営住宅が出来るまでに仮設間の引越しをしなければいけない状況である。前回の説明から一年間の間に何も情報が無かったことも腑に落ちない。わかった時点で直ぐに説明いただきたい。

②年明けの説明会では、詳細な移動場所の説明をおこなうと考えてよいか？

③1月は県外へ出かける予定がある。説明会の日程とかぶってしまうかもしれないが、その時はどうしたらいいか。

→ ①お住まいの仮設につきましては、道路工事の関係で28年8月までに仮設を撤去しなければならない状況です。年が明けてから住民説明会をいたしまして、詳細をお伝えする予定です。よろしく願いいたします。

②皆さんが同じ仮設に転居するという事ではなく、希望を取った上で振り分けをさせていただく予定です。まずは転居の希望を確認させてください。

③その場合は、市が戸別訪問して希望調査を行います。その他、お電話でお知らせいただいてもかまいませんのでご心配はいりません。

①個人住宅を建てる場合、大工さんの都合で上手く調整できないことがある。それでも集約の時には仮設住宅を転居しなければいけないのか？

②実際に宅地の引渡しが終わらないと具体的な建物の設計も出来かねる。見晴らしがよい土地だと思っていたのだが、公営住宅が出来ると聞いてげんなりしている。

①お住まいの大平第1仮設は28年度いっぱいスケジュールのようです。都合がつくようであれば多少の延長は考えたいと思っております。

②図面だけではイメージ湧かないという事ですね。周りの建物については、実際に建ちはじめて状況がわかるまでお待ちいただくしかない状況です。詳細については個別にご説明させていただきたいと思っております。

松原・嬉石地区については、20年に一度くらいの頻度で水害が起こっている。水害を想定して現在の工事を進めているか？

市におきましても、そのように想定して進めております。

①嬉石の漁港について、震災前にあったゲートを廃止すると聞いた。嬉石漁港関係者が出入り出来る場所を計画に入れてあるか。

②嬉石地区の区画整理内の宅地への盛土は、どの程度の高さとなるか。

③45号線の他に道路を作る予定は無いか？有事の際に道路が一本だけだと逃げるのが難しい。

①盛土造成の関係で通行道路自体を廃止いたしました。それとは別にゲートを

作成し、道路や漁港へのアクセスを考えております。

②宅地の盛土については、高いところで4 mほどです。嬉石第2地区の公営住宅付近が4 mほどになる予定です。45号沿いの宅地につきましては国道の道路高さに合わせた形で宅地造成を行って参ります。

③現在工事は復興交付金で賄っていますが、条件が厳しいです。市としては作りたいと考えて頑張っております。国への要望活動を展開していますし、平田～源太沢間の道路はぜひ造りたいと市では考えております。ただ、現時点で作ることは難しいとしか言えません。製鉄所の構内道路については、災害の際に通っても良いということでした承をとっております。

①水門ゲートの開け閉めはどのような基準で行うのか教えて欲しい。

②水門の水が内側にあふれるということはないか？

①市と消防で案を検討している段階です。

②水門の内側(川側)を溢れさせないように、大雨や津波が来た時の状況を考えて検討している段階です。

(市長)： 今日とは色々ご意見をいただき、ありがとうございます。何点か気になったことがございますので、私のほうからお話をさせていただきます。まず1つは仮設住宅にお住まいの方が、仮設から次の仮設に移らなければならないという方について、あまり連絡もしていないという話もございました。これは我々としても反省をしながら、ぜひ事前にちゃんと皆さんのほうにそうした計画や内容についてお伝えをするようにしていきたいと思っております。

次に自力再建の方々についてです。どんどん宅地も造成が進んでいきますと、大工さんとの協議、ハウスメーカーさんとの注文などいろいろなことが出てくるかと思えます。先ほどお話がありましたとおり、それぞれの個々のところと市のほうでできるところでご相談をしていくという流れになると思えます。現在、生活支援室や都市計画の方々が対応していますが、住宅再建する方々のための窓口を用意し、市民の皆様がわからないや相談事を、市としても積極的に関わりながらお手伝いをさせていただきたいと思っております。年が明けましたら、そういう体制をとっていきたいと考えています。本格的には次年度の月以降になると思えますが、皆さんが家を建てやすいよう、環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。

もう1つは、建物を建てる際の補償についてです。28年、29年度に家を建てる方が集中してくるということで、大工さんの値段・資材の高騰が心配だという話がありました。全くそのとおりだと思います。国のほうにも何とかしてもう少し支援できないかとお願いをしていますが、なかなか難しい状況でございます。大変申し訳ないですが、皆さんに支援金をお渡しするというのは難しいので、それ以外のところで何とか皆さんが家を建てられるような仕組みを考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

スケジュールに沿って前もって、工事がうまくいっているのであれば「うまくいっていますよ。いつ頃には引渡しができますよ」ということを早めにお伝えしたいと思っています。先ほど図面に数字がないという話がありました。使い勝手のいい仕組みを我々も考えていきますので、その点もぜひご理解をいただければありがたいと思っています。

なお、消費税の問題について国のほうでいろいろ支援を用意しています。ただ、そういう情報や補助制度をまとめた小冊子を作り、皆さんにお渡しをして、いろいろな補助制度を検討して家が建てられるようにしていきたいと思っています。市も頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。。スケジュール通りに早く皆さんにお渡しするように頑張っていきます。本日はありがとうございました。

(閉会 20:00)

以上